

後発医薬品（ジェネリック医薬品）及び バイオ後続品（バイオシミラー）の使用促進について

当院は、患者負担の軽減、医療保険財政の改善に資するものとして、後発医薬品（ジェネリック医薬品）及びバイオ後続品（バイオシミラー）を積極的に採用しています。

また、医薬品の供給状況により、入院患者様への説明を十分に行ったうえで、投与する薬剤を変更したり、治療計画等の見直しを行ったりする場合があります。

ご不明な点がございましたら、
主治医又は薬剤師にお尋ねください。



（参考）厚生労働省のHP より

後発医薬品（ジェネリック医薬品）は、先発医薬品と治療学的に同等であるものとして製造販売が承認され、一般的に研究開発に要する費用が低く抑えられることから、先発医薬品に比べて薬価が安くなっています。
また、バイオ後続品については、先発バイオ医薬品とほぼ同じ有効性、安全性を有し、安価であり、後発医薬品と同様に医療費適正化の効果を有し、その普及を促進する必要があります。
厚生労働省は、後発医薬品及びバイオ後続品の使用促進のための施策に取り組んでいます。



KAGAWA
ROSAI
HOSPITAL

香川労災病院